

標準委員会 システム安全専門部会 統合的安全性向上分科会
第 45 回統合的安全性向上分科会議事録

1. 日 時 2023 年 10 月 31 日 (火) 15:00~17:20

2. 場 所 WebEX による Web 会議

3. 出席者 (敬称略)

(出席委員) 村上主査 (東大), 松本副主査 (MRI), 倉本幹事 (NEL),
鈴木委員 (原安進), 竹内委員 (東芝 ESS), 高橋 (東電 HD: 田邊委員代理),
外池委員 (JAEA), 長嶋委員 (関電), 成宮委員 (原安進; 途中退席),
廣川委員 (日立 GE), 浦野 (日本原電: 松島委員代理) (11 名)

(常時参加者) 疇津 (九州電), 岩谷 (電中研), 大家・岸根 (NEL), 亀山 (電源開発),
向中野 (北海道電; 粥川代理), 栗山・堀内・松田 (関電),
坂口 (北陸電), 関 (原電^{エソジ}), 橋本 (東北電: 真安代理),
前田 (北海道電), 山口 (東電 HD)

(13 名)

(傍聴者) 下白石 (九州電)

(1 名)

4. 配布資料

S3SC45-1 第 44 回統合的安全性向上分科会議事録 (案)

S3SC45-2 人事について

S3SC45-3-1 “原子力発電所の安全性向上のための定期的な評価に関する実施基準：
202X” 改定原案に関する書面投票【SC23-05】の結果について

S3SC45-3-2 PSR⁺標準改定に関する標準委員会書面投票にていただいたコメントへの
対応

S3SC45-3-3 “原子力発電所の安全性向上のための定期的な評価に関する実施基準：
202X” 転載許諾のため整理リスト

S3SC45-3-4 【転載許諾条件書】AESJ-SA-S006：原子力発電所の安全性向上のための定
期的な評価に関する実施基準

S3SC45-3-5 PSR⁺標準改定案 標準委員会書面投票にていただいたコメント以外の対応
(誤記修正など)

S3SC45-3-6 PSR⁺改定標準案 (標準委員会書面投票コメント反映)

S3SC45-4 日本原子力学会「原子力発電所の継続的な安全性向上のためのリスク情報
を活用した統合的意思決定に関する実施基準」の改定について (案)

S3SC45-5 統合的安全性向上分科会検討スケジュール

S3SC45-6-1 SC92-4_AESJ 標準委員会倫理教育に関する資料

S3SC45-6-2 2023 年度 倫理教育資料の利用について

参考資料：

S3SC45-参考1 統合的安全性向上分科会名簿

S3SC45-参考2 原子力学会での標準委員会主催企画セッション2024年春の年会向け
テーマ募集について（依頼）

5. 議事内容

(1) 出席者確認

倉本幹事より、議事に先立ち、開始時点で委員15名中11名が出席しており、分科会成立に必要な定足数を満足している旨が報告された。

(2) 資料確認

議事次第に基づき、配布資料の確認を行った。

(3) 前回議事録の確認（S3SC45-1）

倉本幹事より、資料S3SC45-1を用いて、第44回分科会議事録（案）の確認を行い、
4. 配布資料における誤記を修正のうえで、確定議事録とすることが承認された。

(4) 人事について（S3SC45-2）

倉本幹事より、資料S3SC45-2を用いて、以下に示すと通りの委員の所属変更、並びに
常時参加者の解除及び登録が報告され、常時参加者登録につき異議なく承認された。

- ・委員の所属変更【報告事項】

松本 昌昭

旧) エム・アール・アイ リサーチアソシエイツ

新) 三菱総合研究所

- ・常時参加者の登録解除【報告事項】

中村 啓幸（関西電力）

- ・常時参加者の登録【承認事項】

松田 勇（関西電力）

栗山 慎司（関西電力）

(5) PSR⁺指針改定 標準委員会書面投票結果、及びその対応（S3SC45-3-1～S3SC45-3-6）

倉本幹事より、資料S3SC45-3-1～S3SC45-3-6を用いてPSR⁺標準改定の標準委員会書面
投票結果及びそこで得られたコメントへの対応、並びに書面投票にていただいたコメン
ト以外の対応について説明を行い、審議した。

この中で、PSR⁺標準案において引用されている文献で転載許諾要の箇所での転載条件
に関する対応もあわせて説明し、審議した。

本日の分科会の審議を踏まえて、標準案を一部修正する。

修正内容については分科会の承認を得た後、対応結果をシステム安全専門部会に報告を行い、システム安全専門部会の了承を得た上で標準委員会への本報告を行う。

主な議論は、以下のとおり。

<資料 S3SC45-3-2 コメント No.2>

Q:「発電用軽水型原子炉施設（以下，“原子力発電所”又は“プラント”ともいう。）」
と言い換えているが、標準中の記載を“原子力発電所”と“プラント”のいずれかに統一することが一般的だと考えるが、統一するのは難しいか。

A: “原子力発電所”，“プラント”は同義ではなく、統一するのは難しい。“原子力発電所”，“プラント”の標準内での使用方法についてはPSR+標準だけでなく他標準も含めた全体的な議論が必要な事項と考える。修正案は、IRIDM標準と同じ記載としたもの。

<資料 S3SC45-3-2 コメント No.3>

C: 3.8「設計基準 (design basis)」の説明について、規制基準が設計基準に含まれるものであるのか、あるいは設計要件に含まれるものなのかが、文書から読み取りづらい。

A: 本項の説明では、前者の規制基準は設計基準に含まれるものであると定義しており、解説8において、この点を明確に説明している。これらの定義については、標準講習会において周知することなどで補いたいと考える。

<転載許諾に係る対応>

文献から図、表又は文書そのものを引用しているものについては、標準委員会事務局を通じ転載元に確認し転載許諾を得た。ただし転載に際しては引用部分の明示や免責事項の記載等の転載条件が提示されており、それらをPSR+標準案に反映している。

Q: 転載条件に係る記載は、事務局に確認いただいたものか。

A: 特に事務局に確認は行っておらず、適切なものであることの確認を取るようにする。

C: 過去にIAEAのSSRを翻訳して技術レポートに転載した際に、今回と同様の内容でIAEAより転載条件が提示されて対応したことがあったので、その際の転載条件に関する文書と同様の記載にするのが良いと思う。

A: 拝承。過去の技術文書の記載を確認して、同じ記載としたものとする。

(6) IRIDM標準改定について（改定趣意書の議論）(S3SC45-4)

倉本幹事より、資料 S3SC45-4 を用いて IRIDM 標準改定の趣意書案の説明を行い、審議した。

本分科会で確認を得た上で、システム安全専門部会に改定趣意書を説明し、改定作業を

開始していくこととする。現行の IRIDM 標準においてはリスク専門部会と協働で改定作業を実施していたが、リスク評価・PRA に関連する記載は前回改定において議論を重ねており、今回改定作業においては大規模な更新は実施しないと想定される。そのため今回改定作業においてはリスク専門部会と協働という体制は取らず、必要に応じリスク専門部会に協力を求めることに留める。

また、今後の改定議論に先立ち、委員・常時参加者において現行 IRIDM 標準の内容を確認し、IRIDM 標準改定への意見、考えなどを挙げてもらい、次回分科会において挙げられた意見、考えに基づいた意見交換をすることとなった。

主な議論は、以下のとおり。

C：講習会で得たフィードバックを IRIDM 標準に反映することとしているが、趣意書案の「3.改定作業内容（案）」にも明記したほうが良い。

A：拝承。明記する。

Q：「S3SC45-参考1」の委員・常時参加者名簿において、IRIDM 検討体制が示されているが、今回の改定作業もこの体制で実施するのか。

A：当該資料の体制は、以前実施した IRIDM 標準英訳版作成作業での体制を示しているもの。改定作業においては新しい体制を組む必要がある。

Q：標準改定にあたり、階層化の検討を行う予定はあるか。

A：IRIDM においては、現行標準でも主要要求事項において、すでに基本的要求事項と実施要求事項を分離して示しており、階層化の検討は必須ではない。しかしながら、他標準との整合性も踏まえ、階層化の示し方などを議論、検討していく必要があると考える。

(7) 今後の予定、その他 (S3SC45-5)

倉本幹事より、資料 S3SC45-5 を用いて、今後の予定について確認した。

IRIDM 標準については、改定標準の趣意書案を 11 月 14 日にシステム安全専門部会へ報告する。

PSR⁺標準については標準委員会書面投票に係る対応状況などを 11 月 14 日にシステム安全専門部会に報告し、12 月 6 日には標準委員会に対し同様に報告する。

次回分科会は 1 月中旬頃を予定し、別途調整する。

(8) 標準委員会倫理教育 (S3SC45-6-1, S3SC45-6-2)

松本副主査より、資料 S3SC45-6-1, S3SC45-6-2 を用いて標準委員会倫理教育を実施した。

委員及び常時参加者については、本日の倫理教育も踏まえて、11/10 日途で以下の対応

を行うこととなった。

- ①6/7 標準委員会での倫理教育動画の視聴。
- ②本年度の倫理教育の内容等への意見，質問，感想の提出

以 上